

「ベルルッキ」日本における
独占販売契約を締結

CSV(共有価値の創造)
の取り組みを推進

第100期 中間報告書

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで



トップインタビュー

『価値』を追求し、『信頼』される
グッド・カンパニーへ

伊藤忠食品株式会社

証券コード: 2692

『価値』を追求し、『信頼』される グッド・カンパニーへ

株主の皆様におかれましては、日頃より当社事業への厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

平成30年3月期第2四半期累計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)の事業概況をご報告し、通期の見通しについてご説明させていただきます。

平成29年11月

代表取締役 社長執行役員

島垣晴雄

企業理念

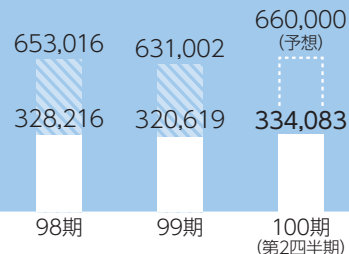
常に時代の変化と要請を先取りし、
健康で豊かな食生活創りを通じて
消費者と社会に貢献します

連結決算ハイライト (単位:百万円)

売上高

334,083百万円

(前年同期比4.2%増)



当第2四半期までの取り組みと経営成績

食品流通業界では、生活防衛意識の高まりから個人消費の回復に遅れがみられるなか、人手不足とこれに伴う労働コストの上昇が続き、業種・業態の垣根を越えた競争も激化するなど、引き続き厳しい事業環境となりました。

こうしたなかで当社グループは、前期より5か年中期経営計画を始動し、計画最終年度(平成33年3月期)の連結業績における「売上高1兆円以上」「経常利益率1%(毎期増額)」の達成を目指すとともに、環境変化に対応すべく企業体質の強化に向けた取り組みを進めています。

計画2年目の当期は、『「既存事業の深耕・拡大」と「新分野の育成」』をミッションとし、卸としての基本機能をブラッシュアップさせながら業務改革を一層推進し、ローコストオペレーションを追求しています。またWEB関連・ブ

ランド事業の拡大を図ると同時に、MD機能の強化、新分野の育成にも取り組んでいます。

第2四半期までの営業状況は、組織小売業との取引深耕と新規取引の増加により、「ビール」「和洋酒」を中心に売上高が増加しました。その結果、売上高は3,340億83百万円(前年同期比4.2%増)となりました。利益面は、取引拡大により物流費など販売費及び一般管理費が増加したものの、増収による売上総利益額の増加により、営業利益15億64百万円(同10.5%増)、経常利益19億36百万円(同7.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益18億66百万円(同32.6%増)となりました。

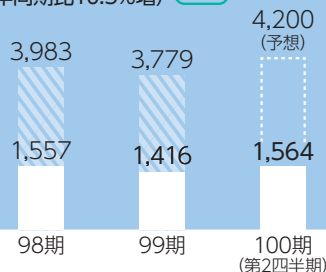
期初の計画に対しては、売上高は増収となり、利益面ではコスト圧縮に努めたことなどから経費が減少し、計画を上回りました。

■第2四半期 ■通期

▶▶▶ 詳細はP7-8をご覧ください。

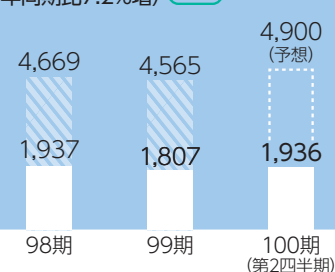
営業利益

1,564百万円
(前年同期比10.5%増)



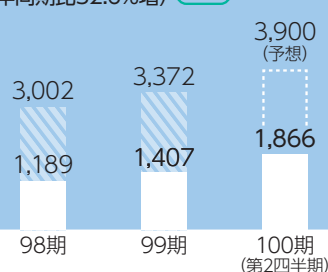
経常利益

1,936百万円
(前年同期比7.2%増)



親会社株主に帰属する四半期純利益

1,866百万円
(前年同期比32.6%増)



酒類分野のさらなる強化

酒類分野では、強みを活かした新しい価値提供への取り組みとして、海外有力ブランドの国内販売展開に注力しています。

イタリア産スパークリングワイン「フランチャコルタ」のパイオニアとして知られる老舗ワイナリー「ベルルッキ」との間で、日本における独占販売契約を締結しました。本年11月より百貨店および業務用ルートから「ベルルッキ'61 ブリュット」「ベルルッキ'61 ナチャーレ」をはじめとする6商品の販売を開始いたしました。「フランチャコルタの奇跡」と呼ばれ、世界中で評価されている最高峰スパークリングワインを広く国内に浸透させていきます。

また、昨年より販売を開始している、イタリア産スパークリングワイン「プロセッコ」のブランド「ミオネット」については、業務用およびギフト、EC向けの販売を中心に展開してまいりましたが、このたび商品ラインナップを拡充しました。業務用向けの「MOコレクション」に口ゼを加えて2品に拡充するとともに、「ミオネット」のフラッグシップである「プレステージコレクション」4品を、2018年2月より小売ルートを含めて順次販売していく予定です。



世界中で130年間愛されるプロセッコ「ミオネット」

MD機能の強化、新分野の育成

今年4月に新設した「MD推進本部」では、全社的なMD機能の強化や新分野の育成を目指し、提案を進めています。

「地域産品プロジェクト」では、「東京セレクション2017」「平成の薩長土肥連合」などの企画を展開し、地産全消の取り組みとして、引き続き注力をしてまいります。「ヘルス&ビューティ」では、健康志向の高まりやオーガニック&ナチュラル志向の浸透による市場の拡大を捉えるべく、多様な切り口で提案を行っています。「ワイン&スピリッツ」では、昨年12月に資本業務提携をしたリードオフジャパン株式会社との協業に注力し、「ギフト」ではリンベル株式会社との協業を推進するなど、各分野においてMD機能の強化に取り組んでいます。また、「惣菜・デリカ」においては、変化を続けるスーパーマーケットのニーズに向けてトータ

ルな提案に取り組んでいます。

一方、「新分野の育成」では、デジタルサイネージを活用した店頭コミュニケーションチャネル[E-POP]の展開に注力しております。購買に最も近い「店頭のお客様」へ直接アプローチするというコンセプトのもとに提案を進めた結果、導入店舗は順調に増加しています。



通期業績の見通しと配当について

前述の通り第2四半期までの連結業績は、売上高・利益ともに期初の計画を上回り増収増益となりました。第3四半期以降は、引き続き卸機能向上への取り組みを通じて

組織小売業を中心に取引拡大および販路開拓を図りながら、さらなる採算強化とコスト圧縮に努めていきます。

通期の連結業績については期初の計画を上方修正し、売上高6,600億円(前期比4.6%増)、営業利益42億円(同11.1%増)、経常利益49億円(同7.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益39億円(同15.6%増)を見込んでいます。

なお当第2四半期の中間配当は、予定通り1株当たり37円50銭とさせていただきます。期末配当についても37円50銭とし、年間配当額75円(前期同額)を計画しています。

これからの当社グループは、中期経営計画の目標を達成することで経営ビジョンに掲げる『「価値」を追求し、『信頼』されるグッド・カンパニー』を実現し、未来への飛躍を遂げてまいります。

株主の皆様におかれましては、当社グループのさらなる成長にご期待いただき、これからも長きにわたりご支援を賜りますようお願い申し上げます。

100期連結業績予想

売上高	6,600億円
営業利益	42億円
経常利益	49億円
親会社株主に帰属する当期純利益	39億円

酒類分野において、 新しい「価値」の提供をめざします

中期経営計画では、重点戦略の一つとしてナンバー1分野の確立を掲げ、酒類分野の強化に取り組んでいます。その一環として当社グループは、イタリア「フランチャコルタ」のパイオニア「グイド・ベルルッキ社」との間で、日本における独占販売契約を締結しました。ベルルッキの国内販売は、2017年11月より百貨店および業務用・外食ルート向けから開始しています。

代表商品 の紹介

香り高く爽やか、粋人好みのワイン ベルルッキ'61 ブリュット

1960年代の澆刺としたスタイル、のびやかな気分を彷彿とさせる粋人好みのワインです。香り高く爽やかでバランスがよく、アペリティフから食事を通してずっと楽しむことができます。



クリーミーで豊かな泡、愛好家向き ベルルッキ'61 ナチュレ2010

瓶での熟成に5年以上の歳月をかけ、澱抜き後に糖分を加えない、愛好家向きのワインです。クリーミーで豊かな泡と表情豊かで複雑な香り。口に含むと鮮やかな酸味が感じられます。



「フランチャコルタの奇跡」と呼ばれる 最高峰スパークリングワイン

ベルルッキ

ベルルッキは1961年、イタリア・ロンバルディア州のフランチャコルタ地方で、醸造家フランコ・ジリアーニ氏（現ベルルッキ会長）が貴族グイド・ベルルッキ氏とともに同国初の瓶内二次発酵によるスパークリングワイン「フランチャコルタ」を生み出した老舗ワイナリーです。「フランチャコルタ」は、1995年に同国ワイン法の最高峰、統制保証原産地呼称（D.O.C.G.）の認定を受けました。厳しい規定を守って造られる品質の良さは、「フランチャコルタの奇跡」と呼ばれる名声を得て、世界中で高く評価されています。



本業を活かして社会と共有できる価値創造 CSVの取り組みを推進

当社は社会とともに持続的に成長していくために、「CSR(企業の社会貢献)」にとどまらず、「CSV(共有価値の創造)」への発展を目指しています。さらなるCSVの推進のため今年の4月から専門部署を立ち上げました。本業のビジネスを活かし社会と共有できる価値創造に取り組み、社会に必要とされる存在意義のある企業をめざし取り組んでまいります。



商業高校フードグランプリ

社会との
共有価値

- 「食に関わる若い人材の育成」
- 「地域食文化継承」

2013年から当社が毎年開催している全国の商業高校生が地域の食材を使って開発した商品を競うコンテストです。エントリーを通して流通・販売可能な商品の条件や課題を学び、販売活動を行うことで実践的な学習の機会を提供しています。また、本取り組みがCSVの推進として認められ、農林水産省・環境省が後援する「第26回食品安全安心・環境貢献賞」を受賞しました。



当社社長の高垣と
大賞受賞校 高知県立安芸桜ヶ丘高校



「第26回食品安全安心・環境貢献賞」を
受賞

フード・セルフケアプロジェクト

社会との
共有価値

- 「市民の健康増進」
- 「医療費の削減」

地域行政が抱える課題である「生活習慣病の拡大」・「医療費の増大」を食生活の改善(フード・セルフケア)で解決することを目的としたプロジェクトです。当社が各分野のスペシャリストのマッチング、プロジェクト全体をプロデュースしながら、約50万アイテムを取り扱う本業の強みを活かして地域の課題に合わせて商品の選定・調達・供給を行い「健康で豊かな」食生活を身近に実践しやすくなるまちづくりをサポートしています。



食生活の大切さを学ぶ講演会



食や健康に関する正しい知識を学ぶ
料理レッスン

連結決算の概要

▶ 連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)

売上高

334,083 百万円

(前年同期比4.2%増)

組織小売業との取引拡大や販路開拓などにより、前年同期比で134億64百万円の増加となりました。

営業利益

1,564 百万円

(前年同期比10.5%増)

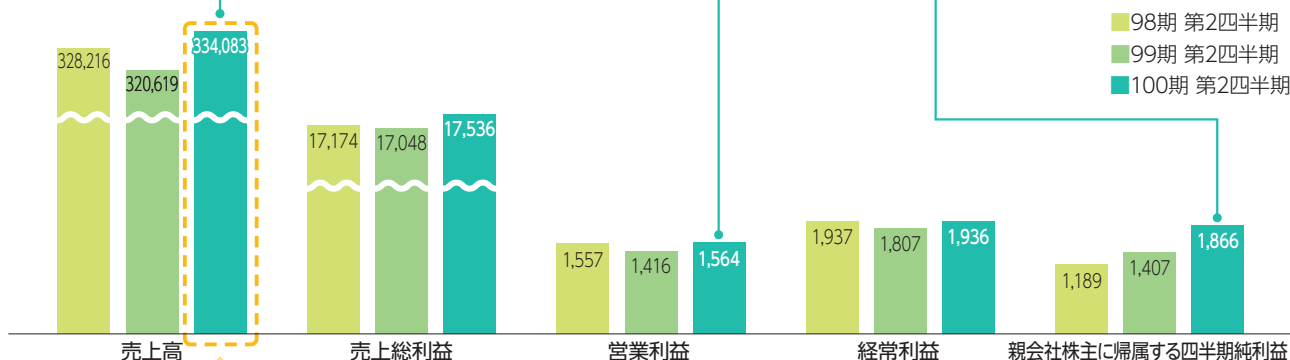
取引拡大により物流費など販売費及び一般管理費が増加したものの、増収による売上総利益額の増加により、前年同期比で1億48百万円の増加となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益

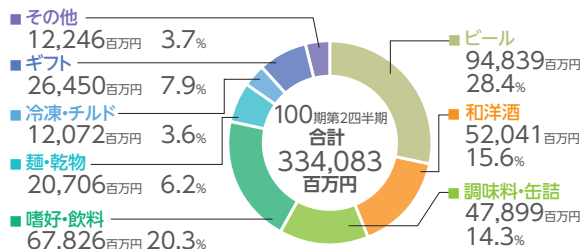
1,866 百万円

(前年同期比32.6%増)

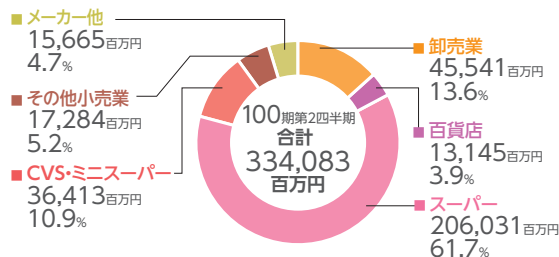
取引先との経費負担に関する一時的な調整金を特別利益に計上したことから、前年同期比で4億59百万円の増加となりました。



商品分類別 売上高構成比

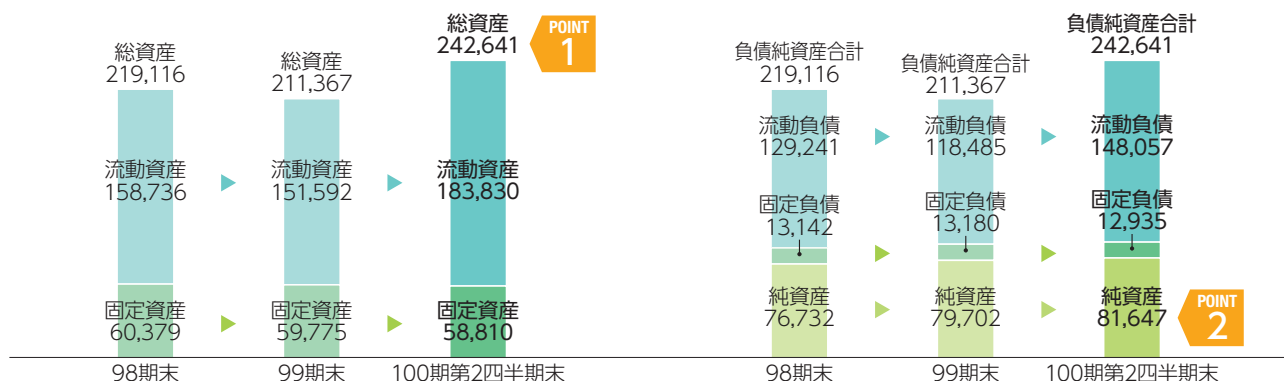


業態別 売上高構成比

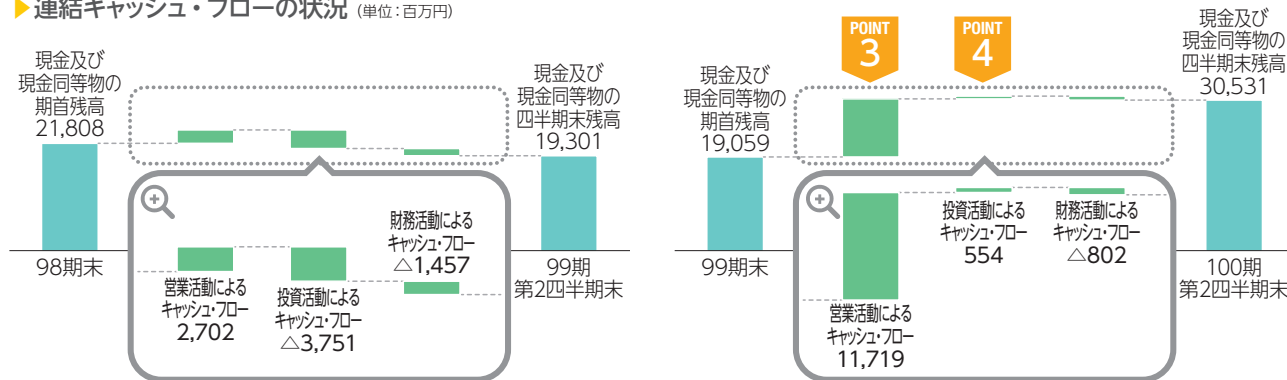


(注)「ビール」には、発泡酒、ビール風アルコール飲料(第3のビール)の売上高を含んでおります。

▶ 資産、負債及び純資産の状況 (単位: 百万円)



▶ 連結キャッシュ・フローの状況 (単位: 百万円)



POINT 1 総資産は、2,426億41百万円となり、前期末に比べ312億73百万円の増加となりました。これは、季節変動要因により売上債権が増加したこと及び関係会社預け金が増加したことなどによるものであります。

POINT 2 純資産は、816億47百万円となり、前期末に比べ19億45百万円の増加となりました。これは、利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

POINT 3 営業活動によるキャッシュ・フローは、117億19百万円の収入（前年同期は27億2百万円の収入）となりました。これは主に、売上債権及び仕入債務の増減によるものであります。

POINT 4 投資活動によるキャッシュ・フローは、5億54百万円の収入（前年同期は37億51百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入によるものであります。

(平成29年9月30日現在)

商号 伊藤忠食品株式会社
 創業年月日 明治19年2月11日(1886年2月11日)
 設立年月日 大正7年11月29日(1918年11月29日)
 資本金 4,923,464,500円
 従業員数 連結1,127名 個別798名
 事業内容 酒類・食品の卸売およびそれに伴う商品の保管、
 運送ならびに各種商品の情報提供、商品流通に関する
 マーチャンダイジング等を主とした事業活動を展開。
 本店所在地 大阪市中央区城見2-2-22
 大阪本社
 〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22
 電話(06)6947-9811
 東京本社
 〒107-8450 東京都港区元赤坂1-2-7
 電話(03)5411-8511

役員	
代表取締役・社長執行役員	高垣 晴雄 常勤監査役 姫野 彰
取締役・相談役	濱口 泰三 監査役(非常勤) 増岡 研介
取締役・専務執行役員	大釜 賢一 監査役(非常勤) 太田 有哉
取締役・専務執行役員	三浦 浩一 監査役(非常勤) 桜木 正人
取締役・常務執行役員	酒井 健雄 執行役員 鈴木 昌
取締役・執行役員	川口 浩一 執行役員 角田 憲治
取締役・執行役員	後藤 晶彦 執行役員 松本 正幹
取締役・執行役員	大崎 剛 執行役員 河原 光男
取締役(非常勤)	川村 博 執行役員 讃岐 博行
取締役(非常勤)	橋本 健 執行役員 魚住 直之
取締役(非常勤)	細見 研介

子会社・関連会社

■連結子会社 ■非連結子会社 ■関連会社

卸売業／■(株)スハラ食品 ■(株)中部メイカン
 小売業／■(株)宝来商店

物流管理・運送業／■新日本流通サービス(株)
 サービス業／■ISC ビジネスサポート(株) ■(株)アイ・エム・シー
 食品マーケティング業／■(株)UpTable

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

**特別口座の
 口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

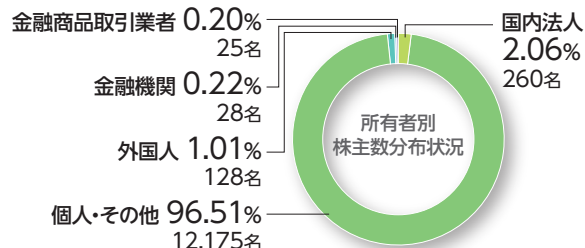
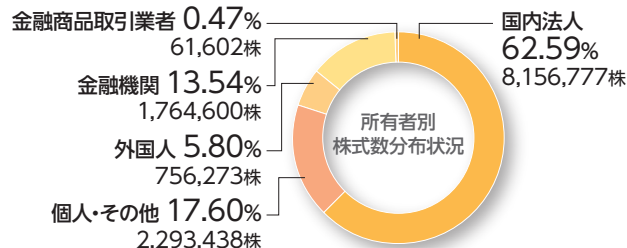
* 公告掲載の当社ホームページアドレス
<http://www.itochu-shokuhin.com/>

単元株式数 100株

証券コード 2692

(平成29年9月30日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株
 発行済株式の総数 13,032,690株
 株主数 12,616名



大株主

株主名	所有株式数(株)	所有株式数比率(%)
伊藤忠商事(株)	6,620,316	50.79
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (三井住友信託銀行再信託分・アサヒビール(株)退職給付信託口)	815,000	6.25
味の素(株)	339,129	2.60
アサヒビール(株)	296,500	2.27
みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)	249,300	1.91
伊藤忠食品従業員持株会	150,000	1.15
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	141,100	1.08
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	118,900	0.91
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口5)	91,000	0.69
はごろもフーズ(株)	87,100	0.66

(注) 1 上記のほか、自己株式が345,289株あります。

- 2 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(三井住友信託銀行再信託分・アサヒビール(株)退職給付信託口)の所有株式は、アサヒビール(株)が所有していた当社株式を三井住友信託銀行(株)に信託したものが、日本トラスティ・サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権はアサヒビール(株)に留保されております。
- 3 みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)の所有株式は、(株)みずほ銀行が所有していた当社株式をみずほ信託銀行(株)に信託したものが、資産管理サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権は(株)みずほ銀行に留保されております。

ご案内

住所変更、
単元未満株式の
買取等のお申出先

証券会社に口座のある株主様 ▶ 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

証券会社に口座がないため
特別口座を開設されました株主様 ▶ 特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式
会社にお申出ください。「配当金のお支払い」
について配当金領収証にてお受取りの
株主様 ▶ 「支払通知書」に替えて「配当金計算書」を同封いたして
おります。口座振込を指定されている株主様 ▶ 配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支
払通知書」となります。

「配当金計算書」について

※確定申告をなされる株主様は大切に保管してください。

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」
を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。

未払配当金の支払いのお申出先

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主優待のご案内

Choice de Choice Free Style Gift

[ちよいすdeチョイス]

厳選された約50種類の
商品からお好きな商品をお
選びいただけるギフトです。

3,000円
相当



春摘み苺アイス



岡山果物屋さんの
ひとくちシャーベット



博多華味鳥
チキンカレーセット



ふくみ屋
長崎角煮まんじゅう・
豚まん詰合せ



かね七
お手軽煮魚セット



コーカサス
ビュア
ハニー
リコリス



こだわりのウインナー



江戸屋
北のふんわり
しゅうまい詰合せ

「商業高校フードグランプリ」
出場商品も優待に!!

学校法人片山学園
倉敷翠松高校
飲むジュレ
岡山清水白桃セット



長崎県立壱岐商業高校
アッパレカレー +
佐賀県立唐津商業高校
松ゆるる美味eat

当社では、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載
または記録された単元株式会社(100株)以上保有の
株主様1名につき1口、当社オリジナルギフト商品をお
ご賞味いただける株主優待を行っております。
優待のカタログの発送は6月を予定しております。
※カタログ掲載商品は変更となる場合があります。

Choice de Choice Free Style Gift が届くまで

[ちよいすdeチョイス]

- 12月
中間報告書(本紙)ご送付
※中間期は、株主優待を実施
していません。
- 3月末
株主優待権利確定
- 6月下旬頃
株主総会后、決議通知に優
待のカタログとハガキを同
封じご郵送いたします。
- 9月30日までに
ご投函ください。
- お届け
お選びいただいた優待商品
がお手元に届きます。

～飲酒は20歳になってから～ 未成年・飲酒運転は法律で禁止されています。また、妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。

ISC 伊藤忠食品株式会社

- 大阪本社 〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22 電話 (06)6947-9811
- 東京本社 〒107-8450 東京都港区元赤坂1-2-7 電話 (03)5411-8511
- インターネットホームページURL <http://www.itochu-shokuhin.com/>



本報告書は、環境保全のため、FSC®認証紙を使用して
植物油インクで印刷しています。